

秋田の土地改良

3

2012・MAR



東日本大震災の被災地の皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。



がんばれ東北! がんばろうニッポン!!

目次

水土里ネット秋田第54回通常総会を開催! 2
 第53回全国土地改良功労者表彰式(全土連第54回通常総会表彰) ... 4
 「東北農政局田沢二期農業水利事業所」開所式が行われる 5
 美郷町千畑土地改良区 設立50周年記念式典 5
 県営「国見地区」経営体育成基盤整備事業(高度利用型)竣工式 ... 5
 新規事業「農業体質強化基盤整備促進事業」の概要について ... 6
 「農地・水保全管理交付金(Ⅱ期対策)」の概要について 8

特集: 農業水利施設内の「ゴミ」問題(シリーズ⑧) 10
 「中山間ふるさと・水と土フォーラム」が開催される 11
 特集: 地域からの情報発信(雄勝支部水土里レポーター 矢野二郎) ... 12
 震災避難者との親睦・交流「新春もちつきお楽しみ交流会」を開催!! ... 13
 水土里情報システムへの加入について(お願い) 13
 連合会日誌、会員だより 14



●発行所 秋田県土地改良事業団体連合会 〒010-0967 秋田市高陽幸町3番37号
 TEL 018-888-2750(代) FAX 018-888-2834
<http://homepage2.nifty.com/akidoren/>



水土里ネット秋田 第54回通常総会

● 本会理事に田口理事長(かづの土地改良区)を選任 ●



3月16日、本会第54回通常総会が秋田市文化会館において、会員119名(内委任状59名)が出席し、来賓として佐竹敬久秋田県知事、佐藤憲雄東北農政局長、小松隆明秋田県議会副議長、金田勝年衆議院議員、高松和夫衆議院議員、寺田典城参議院議員ほか関係者多数の臨席のもと開催された。

総会は、高貝会長が「昨年発生した『東日本大震災』をはじめとする大規模な災害は、国民全体が「人と自然の共生」、「人々の絆や繋がり」の重要性を再認識する機会となった。また、震災直後における農産物等の供給不足は、国等の行政に対し、『安全・安心な食料の安定供給』に関する生産基盤の整備を、強く訴えかけるとともに、我々水土里ネットがこれまで担ってきた農業農村整備の着実な推進が極めて重要であることを提起した。一方、農業農村整備事業を取り巻く情勢は、担い手の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増大といった構造的な課題や、戸別所得補償制度導入以来の関係予算低迷に加え、『TPPの交渉参加に向けて関係国と協議に入る』という政府決定がなされるなど、新たな課題に直面している。農業を基幹産業とする本県にとって大きな打撃となるのは必至であり、県内関係団体と一層の連携を図りながら、国民的な議論を踏まえた慎重な対応がなされるよう、強く要請していく」と挨拶し、引き続き、功績者表彰として優良6団体及び個人16名の表彰が行われ、さらに、来賓の方々が祝辞を述べられた。

議事では、議長に大仙市協和土地改良区理事長加藤久孝氏を選出し、平成22年度事業報告・一般会計収支決算及び財産目録、平成23年度一般会計収支補正予算(理事会専決)、平成24年度事業計画・平成24年度一般会計収支予算などが審議され、すべて承認されたほか、役員の新補欠選任では、田口信一氏(かづの土地改良区理事長)が理事に選任された。

なお、事業計画では、「維持管理計画書作成支援」の最終年度としての継続や、「小水力発電の実証化」、「水土里情報を活用した新たな業務展開」、「農地・水保全管理支払交付金」、「農業体質強化基盤整備促進事業」等への取り組みなどが承認された。

最後に、黒子専務理事により、決議文(別掲)の朗読による提案があり、満場の承認を得て採択され、総会は終了した。



今回表彰された土地改良功績者表彰(優良団体及び個人)は次のとおり。(敬称略)

優良団体

- 金章 由利本荘市滝沢堰土地改良区、秋田県西仙北土地改良区
 銀章 昭和土地改良区、大仙市西仙北土地改良区
 銅章 能代市榊土地改良区、男鹿市福川土地改良区

個人表彰

- 泉谷健一、高嶋良美、邑山潤一、米田新一、長岐洋一、齋藤文範
 成田和保、三浦英樹、伊藤恒宣、小林秀昭、佐藤 昇、猪股則雄
 武藤 威、伊藤和美、照井美津子、新山富雄



決 議

我々「水土里ネット」は、これまで農業生産基盤整備を継続的に推進することにより、本県農業が、我が国の「食料生産基地」としての一翼を担い、基幹産業として発展することを支えてきた。



特に近年は、異常気象による農作物被害が多発しているが、こうした中でも排水対策などを行ったほ場では、顕著な被害軽減効果が確認されており、地域からは暗渠排水等の整備要望が高まっている。さらに、大規模経営を目指す農家からは、労働生産性の向上等を図るため、ほ場の大区画化を求める声が上がっているが、現状の農業農村整備対策予算の規模では、多くの要望に沿った整備が実施できない状況にある。

しかし、本県農業・農村が今後とも持続的に発展し、「国民への安心・安全な食料の安定供給」を通じて、我が国の食料自給率の向上に一層貢献していくためには、農地や農業水利施設の機能を適正に発揮させる生産基盤の整備を、継続的かつ安定的に実施することが不可欠である。

このような重大な使命と期待を担う農業農村整備を積極的かつ着実に推進するとともに、先人達の叡智と努力によって育まれてきた「水」、「土」、「里」を良好な状態で次世代に継承するため、下記事項の実現を図ることを総会の名において決議する。

記

- 一、我が国の農業構造を根底から覆す「TPP」問題を機会として、今後の農業・農村の中で土地改良区のあるべき姿を国の責任において検討すること。
- 一、農地を担い手に集積し、労働生産性の更なる向上を図るため、大規模な経営を目指す地域のほ場の大区画化等に必要な予算を確保すること。
- 一、大豆、戦略作物等の生産拡大に不可欠な暗渠排水や水路の緊急補修等きめ細かな整備を行うための事業を継続的な制度として確立すること。
- 一、農業用水の安定的な確保や環境保全型農業の推進に資する農業水利施設の計画的な保全・整備に必要な予算を確保すること。
- 一、老朽化した農業水利施設の耐震強化など防災機能の向上に向けた更新・整備と管理体制の充実を図る施策を推進すること。
- 一、農地や農業水利施設等の一層の効果的・効率的な保全管理・整備をするため、地方公共団体、土地改良区、農協等が活用する「水土里情報システム」の更新・整備に対して支援措置を講ずること。

平成24年3月16日

秋田県土地改良事業団体連合会 第54回通常総会
(水土里ネット秋田)

第53回全国土地改良功労者表彰 平成23年度農業農村整備優良地区コンクール

■第53回全国土地改良功労者表彰

平鹿町土地改良区が農林水産大臣表彰、4団体3個人が全国水土里ネット会長表彰

全国土地改良功労者表彰は、永年にわたり土地改良事業に尽力され、功績が認められた土地改良関係者(優良団体・個人)が表彰されるもので、本県関係者としては、6年ぶりの農林水産大臣表彰(ダイヤモンド賞)として平鹿町土地改良区の受賞が決定したほか、4団体3個人の全国水土里ネット会長表彰の受賞が決定した。

表彰式は、3月27日(火)、全国水土里ネット通常総会終了後、シェーンバッハ砂防(東京都)で行われる。

〔優良団体表彰 農林水産大臣表彰〕

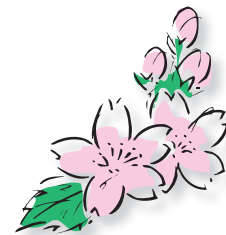
◇平鹿町土地改良区

〔優良団体表彰 全国水土里ネット会長表彰〕

◇金章 田代町土地改良区

◇銀章 大内土地改良区
大館市土地改良区

◇銅章 鳥海町上川内堰土地改良区



〔個人表彰 全国水土里ネット会長表彰〕

◇石山 米男(秋田県雄物川筋土地改良区前総括監事 故人)

◇北林 正志(田代町土地改良区事務局長)

◇加藤 広隆(秋田県仙北平野土地改良区事務局長)

■平成23年度農業農村整備優良地区コンクール〔農業生産基盤整備部門〕

「大沢地区」(河辺土地改良区)が農村振興局長賞を受賞

農業農村整備事業を契機として、効率的かつ安定的な農業経営を行い、生産性や収益性の高い農業を積極的に展開している地区を表彰する、平成23年度農業農村整備優良地区コンクール〔農業生産基盤整備部門〕において、「大沢地区」(河辺土地改良区)が農村振興局長賞を受賞することが決定した。

表彰式は、全国土地改良功労者表彰と同様、3月27日(火)、全国水土里ネット通常総会終了後、シェーンバッハ砂防(東京都)で行われる。